

東京データプラットフォーム協議会 第7回推進会議

事務局資料

令和5年3月2日

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第6回推進会議の振り返り
3. 令和4年度の各事業報告及び令和5年度事業の紹介
4. TDPF稼働に向けた準備
5. 意見交換
6. 東京都からのお知らせ
7. 閉会の挨拶

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第6回推進会議の振り返り
3. 令和4年度の各事業報告及び令和5年度事業の紹介
4. TDPF稼働に向けた準備
5. 意見交換
6. 東京都からのお知らせ
7. 閉会の挨拶

1. 開会の挨拶

東京都 副知事 宮坂 学

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第6回推進会議の振り返り
3. 令和4年度の各事業報告及び令和5年度事業の紹介
4. TDPF稼働に向けた準備
5. 意見交換
6. 東京都からのお知らせ
7. 閉会の挨拶

【振り返り】委員からいただいたご意見（1/3）

分類	主なご意見（第6回推進会議より）	対応方針
TDPFの活動全体について	<ul style="list-style-type: none"> ■ これからは稼働に向けた構築段階に入る。具体的なコンセプトの下、全体を整理し、それを実施していくことが肝要 ■ 多様な意見をまとめて、全体を俯瞰して戦略的に進めていくことが大切 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今般、TDPF全体構造を整理し、稼働に向けた準備としてコンセプトペーパーを提示 ■ 次年度以降はそれらの整理に基づき、業務設計等の取りまとめを加速。多様な意見も踏まえ、適宜方向性のブラッシュアップを検討
データ品揃えに向けて	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都がデジタル庁の自治体標準オープンデータセットを揃えていくことはひとつの価値になる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次年度データ整備事業では、全自治体標準オープンデータセットについて都内全自治体の整備を目指した活動を予定
活動の発信について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来のユーザーを想定したプロモーションやマーケティングの準備も非常に大事になっていく ■ 参加者を募るにあたり基本理念を整理し、皆が言える合言葉が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次年度より営業や広報活動を実施予定 ■ 「TDPFとは」をより先鋭化させ共通化していく
サービス構築に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者、女性、障がい者、外国人などへも気を配れると素晴らしいDXになる ■ 都内の年代別格差が大きいことを踏まえ、それぞれのエイジグループで見た時の違いを意識した取組を検討すると、活動の解像度が上がる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 誰もが皆 快適に過ごせる社会を目指し、段階的な機能実装や取組拡大を展開する

【振り返り】委員からいただいたご意見（2/3）

分類	主なご意見（第6回推進会議より）	対応方針
ポリシー検討について	<ul style="list-style-type: none"> ■ ポリシー案改訂やトラストの議論は、来年度以降の稼働を想定し、具体的な題材のもと検討をすべき ■ ポリシーやトラストについて、スクラップ&ビルドは当初から想定しつつ、他方でコアな部分はあまり変えない方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今年度ポリシー策定委員会は、ケーススタディ等からのフィードバックに加えて、来年度稼働時に提供を検討しているデータ（オープンデータ等）や、利用者の参加のし易さの観点等から論点設定し、議論を実施した ■ 根幹となる考え方をベースに事業や機能拡張に応じて内容見直しをかけていく
コミュニティ形成について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当事者と周囲との熱量の差を起こさないよう、なるべく多彩な方を巻き込んで参加型で実施すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今年度WG活動では、オープンな発信に加え、分野ごとの個別討議等実施。今後はこれまでの活動内容を踏まえ、より参加意欲を掻き立てるような取組も検討
連携に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仲間づくりのため、TDPFの取組は引き続きオープンであるべき ■ 共に知恵を出し合い、同時にそれぞれの検討動向を共有することは重要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ整備事業やアドバイザー制度試行等にあたり、区市町村や民間事業者へのヒアリングを実施。ニーズや検討動向の把握に加え、課題共有による共創関係構築にも努めている ■ エリア連携WGでは、まず共創で解決すべき課題やビジョン・ミッションの共有に向けて、スマートシティに取り組む各エリア同士によるWSを開催し、対話を実施

【振り返り】委員からいただいたご意見（3 / 3）

分類	主なご意見（第6回推進会議より）	対応方針
設計・構築にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術的チャレンジというよりは、TDPF自体を社会実装まで持っていくことが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 単に基盤構築をするのではなく、ビジョンミッションの下、次年度サービス開始予定のアドバイザー制度等を活用しつつ、ユースケース創出を支援するなど、社会実装に向けたチャレンジを重ねていく
	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマートフォンに合わせたUI/UXは必然 	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタルサービス10か条にある顧客視点でのデザインを踏まえ、利用者のニーズに即した設計・構築を励行する
多様な人材の取り込み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材の参画に関しては、高専生等の新しい人材の登用を進めていくことで、多様な視野でサービス設計出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な人材を集めるGovTech東京と協働し、行政以外の視点を活用 ■ データ利活用に係る取組対象の裾野拡大に向け、学生向けイベントを実施
要件定義改版に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ■ 要件を決めていくところはできるだけ多くの人がレビューする機会を設けることが重要。誰がどうやって参加できるか、何が出来るのか、といったことも要件定義書の定義次第である 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 昨年度策定した要件定義書を公開し、幅広く意見を募集している。また今年度の改訂版についてもHPに公開し、意見募りたい

【振り返り】参加者からいただいたご意見

分類	主なご意見（第6回推進会議アンケートより）	対応方針
TDPFの活動全体について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 稼働に向けては、抽象的・概念的な話から、各論に落ちた議論を期待する ■ 事業計画の内容をより深化させることを期待する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今般、TDPF全体構造を整理し、稼働に向けた準備としてコンセプトペーパーを提示 ■ 次年度以降はそれらの整理に基づき、業務設計等の取りまとめを加速。多様な意見も踏まえ、適宜方向性のブラッシュアップを検討
活動の発信について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都民やステークホルダーの認知度向上をすべき ■ 都が検討するノウハウを、人材育成の観点からも各地域へ展開してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次年度より営業や広報活動を実施予定 ■ 次年度はデータ利活用に関する人材育成に向けた取組も検討予定
データの品揃えについて	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタル庁の自治体標準オープンデータセットを、都が音頭を取って進めていくことは大いに期待している 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治体標準オープンデータセットの都内カバレッジデータの品揃えを目指し、各区市町村との対話を始めている

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第6回推進会議の振り返り
3. 令和4年度の各事業報告及び令和5年度事業の紹介
4. TDPF稼働に向けた準備
5. 意見交換
6. 東京都からのお知らせ
7. 閉会の挨拶

TDPF各事業の活動報告

①コミュニティ構築

①協議会の取組

- TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成
 - 各WGとも個別のヒアリングやWSを通じ、課題や方向性を共有
 - アドバイザー制度の試行実施
 - Slackコミュニティの継続

②ユースケース創出

②ケーススタディによるユースケース実証

- 令和4年度3プロジェクトの成果取りまとめと令和5年度の活動

③データ整備

③データ整備手法の拡充・将来の事業化準備

- データ整備実施結果取りまとめ
- 令和5年度の活動(自治体標準オープンデータセット62区市町村分のカバレッジデータ取り揃えを目指す取組)

④ポリシー

④ポリシー案改訂・アドバイザリーボード設置準備

- ポリシー策定委員会を経た改訂案内容と今後について

⑤基盤構築

⑤仮想データ連携基盤の構築・提供

- ケーススタディ事業での仮想データ連携基盤活用を通じた要件定義改版の検討状況

【防災データWG】令和4年度活動報告

民間事業者の防災に関する取組事例の紹介や、
自治体/民間事業者へのヒアリングを通じた課題深掘りとユースケースを創出

データ活用の具体例（水害時）

データ提供者

TDPF・東京都
(建設局河川部)

東京都管轄の1級
/2級河川の水位等

表形式/テキスト情報
(数字や文字の列挙)

防災/災害関連
システム開発
ベンダー

気象・河川・警報等、
情報集約と可視化



データ利用者

基礎自治体

避難情報、
避難ルートなど



都民/都内企業
など

ユーザーが理解/判断する為のデータ
活用は難しい

ユーザーが理解/判断できる、
また、適切に行動できるデータに転換していく

今年度取組成果

- ・ 民間事業者の防災に関する取組事例の情報発信
(第6回防災データWG)
- ・ 自治体及び事業者へのヒアリングを通じた課題の具体化
- ・ 水害におけるTDPF利活用ユースケースの創出
- ・ 官民連携データ利活用の取組
TDPF×SEJ断水実証プロジェクト (次ページにて紹介→)
TDPF-都市OS間の災害時の施設データ連携

TDPFにおける防災データ活用の課題

ユースケースの
実装に向けた
具体化

現場担当者のニーズを踏まえ、
データを集約し、適切な連携方法が必要

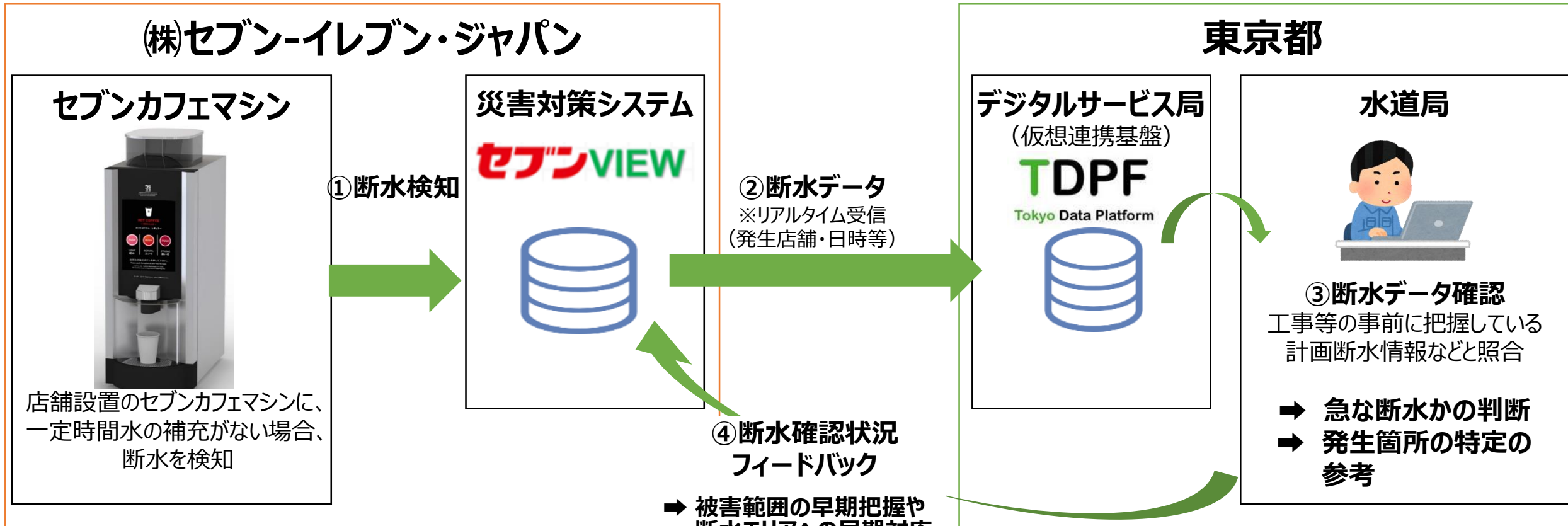
区市町村の災害対応方針に則した、
データ利用シーンの創出が重要

防災関連の
データ利活用事
例の創出

防災分野のデータ活用に関する
取組事例や情報を広く収集し、
継続的に情報発信することが必要

【防災データWG】TDPF×SEJ断水実証プロジェクト

※ SEJ が取得した店舗断水情報をTDPFを通じ、水道局に提供
水道局での断水対応における活用可能性を検証



※株式会社セブン-イレブン・ジャパンの略称

【施設系データ集約WG】令和4年度活動報告

TDPFでのデータ収集手法確立に向け、機能や体制など本WGとしての要望を整理 今後の展開準備として、ユースケース案を基に活動の方向性を整理

データ収集におけるTDPFへの要望を整理

効率的なデータ
バリデーションチェック
体制や環境等の準備

提供者とのWeb
コミュニケーション
機能の実装

データクレンジング
フローとの連携

施設系データの収集から提供までのフロー・役割等
について、TDPFとしてのスタンス等整理が必要

昨年度作成のトイレデータフォーマットを更新

昨年度作成のデータフォーマットを、
自治体標準オープンデータセットに合わせて更新
更新箇所は「項目名」と必須/推奨/任意を表す「区分」のみで
合計13箇所を更新

事業者ヒアリングを行い方向性を整理



ユースケース案を基にしたヒアリングで
TDPFの期待値や今後の活動の方向性を整理

ユースケースに基づいた、事業者への価値訴求の
提案に向けた体制・プロセス・マテリアル等を整理

TDPF参加者間でのビジネスマッチングや
データ利活用ニーズの明確化を
どのような形で行うのが効果的かの検討

【エリア連携WG】令和4年度活動報告

ワークショップでの検討内容を受け、
エネルギー問題・災害時などに対するデータ活用のユースケースイメージを整理

※ワークショップでの検討内容（一部抜粋）

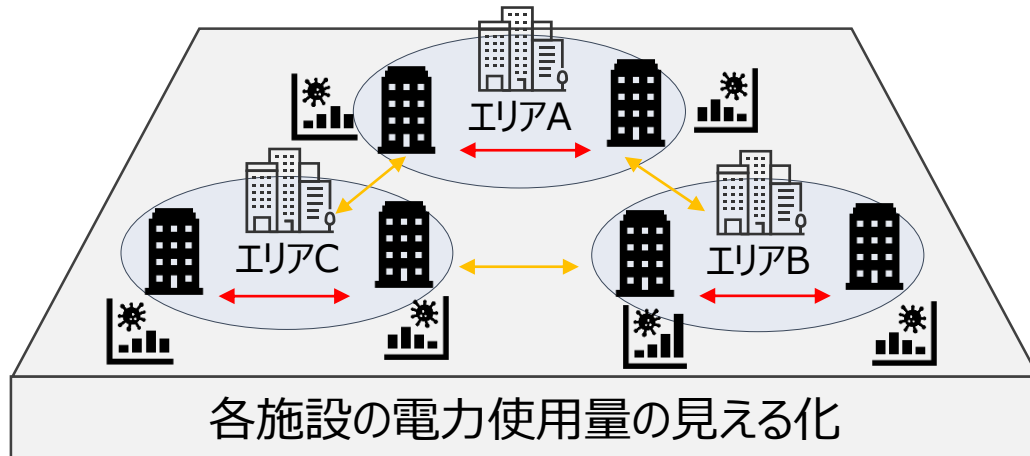
防災

帰宅困難者に関する取組の情報を連携できないか

省エネ

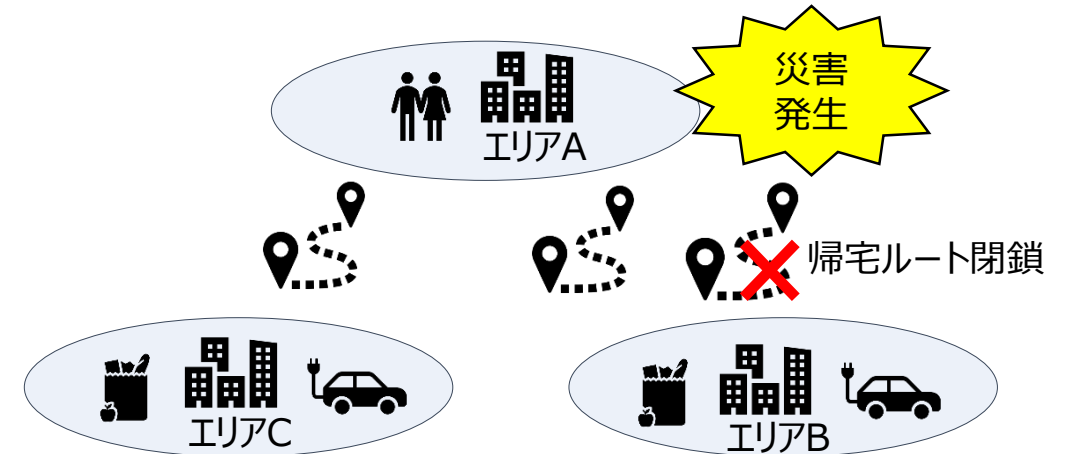
省エネの活動に対し、個人の意識を向上させるためにデータをうまく活用できないか

エネルギー問題に対するデータ活用



各エリアにおける電力使用量の見える化し、
エリア内・エリア同士を比較できるようにし、競争を促す。
省エネに貢献しているビル・エリアに対するリワードを設計し、
協創できる競争の仕組みを取り入れ、省エネ効果を図る

災害時に対するデータ活用



帰宅経路、電力供給ライン、食料備蓄量、人流データ等を
共有し、速やかな避難経路の確保、必要物資の適切な配布、
避難所での受け入れ人数の調整・他の避難所への誘導など、
災害時に迅速に対応できる街を創る

【ケーススタディ事業】PROJECT 01

取組名	TOKYOトイレマップ
概要	官民のトイレ設備情報をベースに、バリアフリートイレのリアルタイム満空状況を付加して発信 ユーザーからの投稿も活用し、誰もがトイレに困らない世界を実現する
利用データ	官民のトイレ設備データ、バリアフリートイレの利用状況データ、ユーザー投稿データ

- 実施状況**
- ◆ 渋谷駅周辺で、MAP型のトイレ情報（場所・トイレの評価・設備情報等）の提供サービスを実施、有効性の検証を行った
 - ◆ 実証の実施期間：2022年11月1日～2023年1月10日



- KPIの達成状況・成果** カッコ内は目標値
- ◆ KPIを上回り、多数の利用者がアクセス、利用者の満足度でも高評価が得られ、市民のQOL向上に貢献した
 - サービス利用意向 **94.0%を達成** (80%)
 - 23施設の掲載を達成 (20施設)
 - 31,217PV/セッション13,803件を達成 (20,000PV/7,700件)
 - サービス理念への共感 **99.2%を達成** (80%)
 - ユーザー機能への参加意欲 **84.6%を達成** (80%)
 - 正しいトイレ設備情報であるかどうか **95.2%を達成** (80%)
 - ◆ 管理主体が多様なトイレという公的施設において、地元行政との連携やWG成果の入力フォーマット活用によって、センサ設置・データ取得が円滑に実現できた
 - ◆ ユーザーコメントからトイレの不具合が発見され、迅速な対処に繋がるなど、市民参加によるデータ更新の可能性が確認できた

- 今後の展開**
- ◆ 本取り組みで確認した実証協力施設、利用者からの対象施設・エリア拡大の期待の実現に向け、取り組みを継続

【ケーススタディ事業】PROJECT 02

取組名 TDPF-都市OS間の災害時の施設データ連携

概要 公共施設の維持管理用のセンシングデータ活用で、発災時の避難所の開設を迅速化、TDPFと自治体のデータ利活用基盤（都市OS）との連携で、関係主体間での避難所開設情報を共有し防災業務効率化に活用

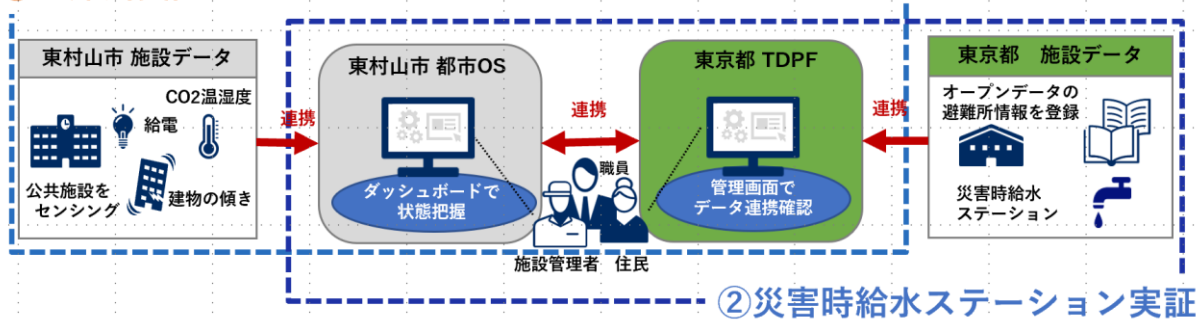
利用データ 公共施設センシングデータ（学校、給水施設）、避難所情報オープンデータ

実施状況

◆大規模災害発生を想定した避難所・給水所開設訓練を実施

- 実施エリア：東村山市内の3小学校、都の災害時給水ステーション
- 実施日：2022年12月7日・12月14日
- TDPF－都市OS連携を通じて関係者間で共有したデータ
- 都市OS：学校施設センサデータ（CO2濃度・温湿度、傾斜計、電流計）
- TDPF：避難所データ、応急給水施設センサデータ（扉開閉・音声）

①避難所実証



KPIの達成状況・成果

- ◆KPIはすべて達成、データ連携による業務効率化が確認できた
- **TDPF・都市OSの保持データを相互に相手先で確認可能に**
 - TDPF上の市内29避難所データを、都市OSダッシュボードで見える化
- **リアルタイムデータを活用した負担軽減・業務効率化の実現**
 - 施設被災状況の即時把握による避難所開設点検の迅速化（最大延べ15時間短縮※）※被災率23%の場合
- **事後ヒアリングでも業務効率化や今後の活用に大きな期待**
 - 東村山市：センサデータは避難所立ち上げの迅速化にも平時の維持管理にも有効。今後の都や周辺自治体とのデータ連携にも期待
 - 都の担当部局：現地確認が省略でき、今後のセンサ活用を検討したい
 - 民間事業者：TDPFによる防災情報の行政からの提供や官民連携に期待

今後の展開

- ◆基礎自治体・広域自治体への横展開による災害時データセンシングの拡大とTDPFを介したデータ連携・活用、平常時利用への拡大
- ◆行政・民間の有する防災データのTDPFを介した相互活用

【ケーススタディ事業】PROJECT 03

取組名	集客施設による災害時の多言語情報提供
概要	訪日外国人向け観光情報サービス「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE(LIVE JAPAN)」を活用し、発災時に集客施設が発信する「支援情報」を多言語提供。また、東京都が提供する避難場所・一次滞在施設のオープンデータをLIVE JAPAN内コンテンツの「便利MAP」で表示
利用データ	集客施設の施設情報・支援情報、避難場所・一次滞在施設のオープンデータ

実施状況

- ◆ 2022年10月5日「便利MAP」アップデート完了。(都内の避難場所・一時滞在施設が確認できるようになった)
- ◆ 大丸有エリアの情報登録訓練を2022年11月28～30日に実施。(21社47施設が参加承諾、うち20社44施設が当日参加)
- ◆ 参加施設、外国人(WEB1,771名, 対面180名)への調査を実施



KPIの達成状況・成果 カッコ内は目標値

- ◆ KPIはおおむね達成、登録店舗からの多くの賛同、利便性・利用意向で外国人から高い評価を得られた
 - TDPF連携(活用・提供)に向けたシステム改修・開発の実施
 - 訓練に参加した施設数44の達成 (30)
 - 外国人による「便利MAP」「災害情報タイムライン」の高評価獲得
 - 災害時の「便利MAP」の利便性・利用意向におけるポジティブ回答82.5%を達成 (80%)
 - 「災害情報タイムライン」の災害時の利便性・利用意向におけるポジティブ回答83.4%を達成 (90%)
- ◆ 本プロジェクトが、外国人の災害時の安心・行動支援につながること、また、企業の社会貢献を後押しできることも確認された

今後の展開

- ◆ 便利MAPの改良、コンテンツ化、狭域エリアから区単位の展開、施設数の拡大、最新情報登録の仕組み等の検討しつつ推進

【ケーススタディ事業】総括①

実証成果と課題を踏まえ、コミュニティ拡大によるマッチングやデータストック拡大の必要性など、来年度実施すべき事項を整理

成果と課題

成果

新しいデータ取得・提供モデルの可能性を確認

- 民間サービス事業活用のデータ取得・提供モデル
- 市民参加による施設情報更新モデル
- TDPFと都市OSの連携による自治体間連携モデル

TDPFの取扱データの多様性や特性を確認

(→次頁)

課題

- データ連携の主体・エリアの広がりが限定的
- データ確認に留まり、活用には至らなかった
- 今後のデータストック拡大につながる実績が少なかった
- 利用側のニーズに合わせたデータ収集の必要性
(基盤側も同様)
- 民間データ流通のインセンティブがみえない
- 行政データが利用しやすい形でストックされていない

課題を踏まえて来年度実施すべき事項

今年度実証結果の深堀

- 利用モデルの深化、エリア拡大、横展開
- 基盤側での利用ニーズに対する柔軟性の検討

コミュニティ拡大によるマッチング

- 利用者コミュニティの創出・強化
- TDPF活用サービス・ビジネスモデルの発見・育成

データストックの拡大

- 標準化、更新、有償提供などの利用ルール検討
- 安心してデータ利用・提供が行える環境作り
- 初期のコア・データとなる公共データの拡大・実装

【ケーススタディ事業】総括②

取扱データの拡大に向けては、②のデータ取り揃えにより利活用事例を積み上げ、データニーズを見極めるなどの展開が必要

	特徴	本事業でのデータ例	TDPFへの実装	想定実装形態
展開の方向性 ↓	① オープンデータ	主に行政データなどの公共性の高いデータ (静的なリスト・統計等)	避難所等の施設位置 ・施設基本情報データ	当初より実装 データカタログ、API等 (無償)
	オープンデータ ② 以外で汎用性の低いデータ	特定の行政・企業の事業に用いられ、データ形式や価値も様々なデータ 動的：ピンポイントのセンサデータ 静的：カスタマイズ店舗データ等	測定されたままの個別のセンサデータ施設からの支援情報データ	利活用事例を積み、データを蓄積 データカタログ / 簡易なリスト等 (クローズド、相対提供等)
	オープンデータ ③ 以外で汎用性の高いデータ	行政・企業の事業に広く用いられ、一定の対価とともに提供される定型化されたデータ 動的：人流・気象データ 静的：企業情報など)	集計化 / 見える化された①、②データ ※いわゆるビッグデータ	①②をベースに、データ市場に発展 データカタログ、API等 (有償提供)

【ケーススタディ事業】令和5年度事業概要(想定)

事業目的

- WGの検討テーマを中心としたケーススタディとなるプロジェクトの実施を通じ、データ利活用の更なる促進を目指し、TDPFの継続利用に繋げる
- 令和4年度よりも枠を拡大し、TDPF稼働時の初期事例として発信

事業内容

① TDPFの継続利用に繋がるケーススタディを公募 (3～5件採択予定)

- 1) 今年度のWGの検討内容と連携したプロジェクト
- 2) 来年度整備予定の自治体標準オープンデータセットを広域で活用したプロジェクト
- 3) 今年度ケーススタディプロジェクトの発展形となるプロジェクト
- 4) その他のテーマ

※テーマは現段階での仮案です

② 得られたケーススタディを利活用事例として、積極的に広報

- 適宜実施するイベントや、協力事業者の参画により一体感を高める
- TDPF稼働時のファーストユーザーとして、一体となって広報を実施

【データ整備事業】進捗概要

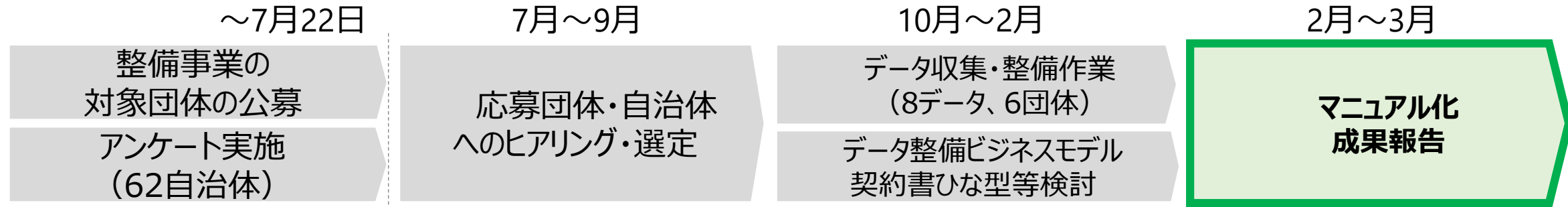
民間からの公募・自治体へのアンケートを実施し、データ整備の対象団体・自治体を決定し、データ整備を実施。並行して、ビジネスモデルの検討を実施

事業目的

- ① 昨年度顕在化した課題の解決に取り組み、データ整備メニューを高度化
- ② 民間事業者の保有データも含む新たな分野のデータを対象にデータ整備手法をモデル化

検討成果を踏まえ、データ整備事業のビジネスモデルを検討

進捗



整備モデル
対象データ

地域・年齢別人口

介護サービス事業所一覧

店舗や施設一覧

医療機関一覧

食品等営業許可一覧

人流統計

【データ整備事業】データ整備の実施内容

各データセットに実施したデータ整備内容を踏まえて、マニュアルに追記

対象データセット	業種	データ整備内容	マニュアルの追記内容
店舗・施設一覧	小売	<ul style="list-style-type: none"> POIコード※1や町字IDの付与、同コードを用いたデータ整備の実施 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 上記を通じた店舗・施設一覧における望ましいデータフォーマットの検討も想定 	<ul style="list-style-type: none"> データフォーマットの検討 自治体標準データセットの事業所データに対する変換作業の実施 POIコード付与の実施
	情報・通信		
人流データ (カメラで取得)	商店街組合	<ul style="list-style-type: none"> 複数地点・広域エリアでの人流データの連携を見据えたデータ整備の実施 	<ul style="list-style-type: none"> データフォーマットの検討 ISOなど国際・国内標準データのコードの調査、変換作業の実施
食品等営業可・届出一覧	23区自治体A	<ul style="list-style-type: none"> 推奨データセットやデジタル庁の取組等に準拠する上で必要なデータ整備の実施 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 法人番号の付与 ➤ 緯度・経度の付与 ➤ POIコード、町字IDの付与 ➤ エラーデータの訂正 ➤ メタデータの付与 	<ul style="list-style-type: none"> データフォーマットの検討 法人番号の付与作業の実施 住所情報の分割、緯度経度付与作業の実施 POIコード付与の実施 データ項目別に格納されるデータの特徴に合わせたエラーデータ調査※2 メタデータ付与の実施
	23区自治体B		
地域年齢別人口、医療機関一覧、介護施設一覧	島しょ部自治体	<ul style="list-style-type: none"> 島しょ部のオープンデータの推進に向けた幅広くデータ整備をサポート 	<ul style="list-style-type: none"> 小規模自治体向けのデータ整備の進め方 行政基本情報データ連携モデルとの差異を変換 緯度経度付与作業の実施

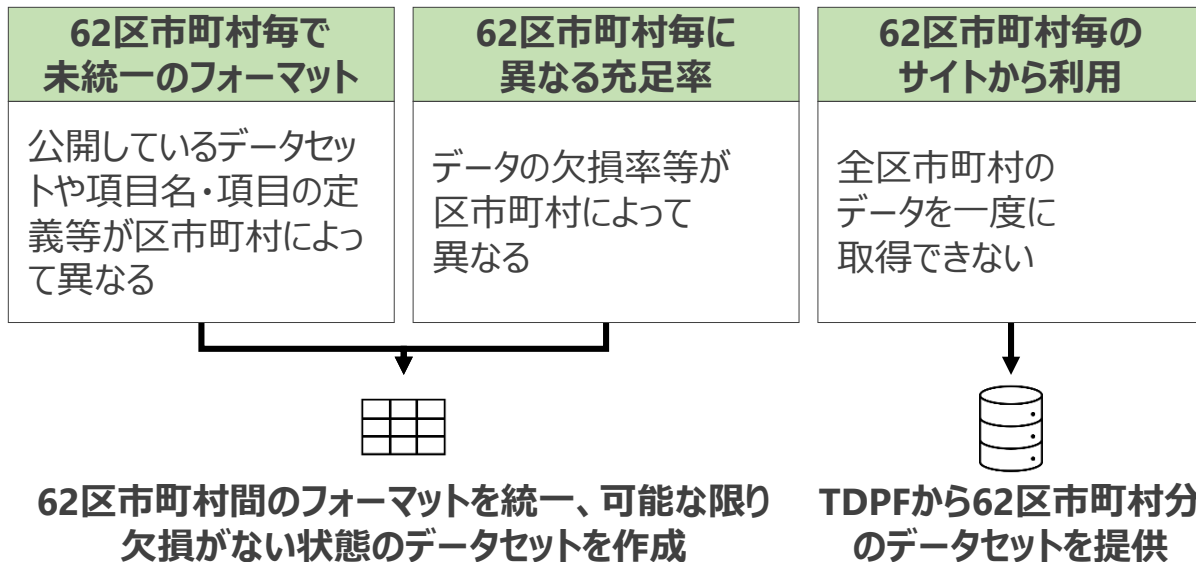
※1 観光施設、公共施設など地理的目標物を POI (Point Of Interest) と呼び、観光施設、公共施設など地理的目標物に対する分類コード

※2 電話番号の項目であれば「数字以外の文字列が含まれていないか」、メールアドレスの項目であれば「"/@」が必ず含まれているか」などデータの特徴を踏まえてエラーチェックの仕組みを用意することで、精度の高いエラーチェックを実施

【データ整備事業】令和5年度事業概要(想定)

都内全62区市町村の自治体標準オープンデータセット整備に向けた準備を行い、将来的に全区市町村分を集約したデータセットの提供を目指す

データ整備事業で解決を目指す課題



- 各自治体の作業の削減
- デジタル庁の活動と連動により、成果を共有
- 62区市町村のデータを一元的に利用可能

自治体標準オープンデータセット

1. 公共施設一覧
2. 文化財一覧
3. 指定緊急避難所一覧
4. 地域・年齢別人口
5. 子育て施設一覧
6. オープンデータ一覧
7. 公共無線LANアクセスポイント一覧
8. AED設置箇所一覧
9. 介護サービス事業所一覧
10. 医療機関一覧
11. 観光施設一覧
12. イベント一覧
13. 公衆トイレ一覧
14. 消防水利施設一覧
15. 食品等営業許可・届出一覧
16. 学校給食献立情報
17. 小中学校通学区域情報
18. 支援制度（給付金）情報
19. 防災行政無線設置一覧
20. 教育機関一覧
21. 公営駐車場一覧
22. 公営駐輪場一覧
23. 投票所一覧
24. ゴミの分別方法一覧
25. 赤ちゃんの駅
26. ゴミ集積所一覧
27. 観光ポイント

【データ整備事業】成果報告会

今年度のデータ整備事業成果報告会を開催予定

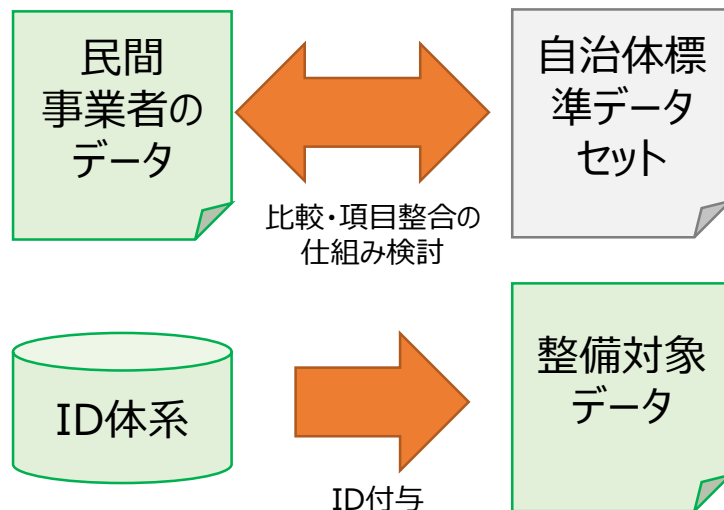
開催概要

日時：令和5年 3月23日（木曜日） 14時～16時（予定）

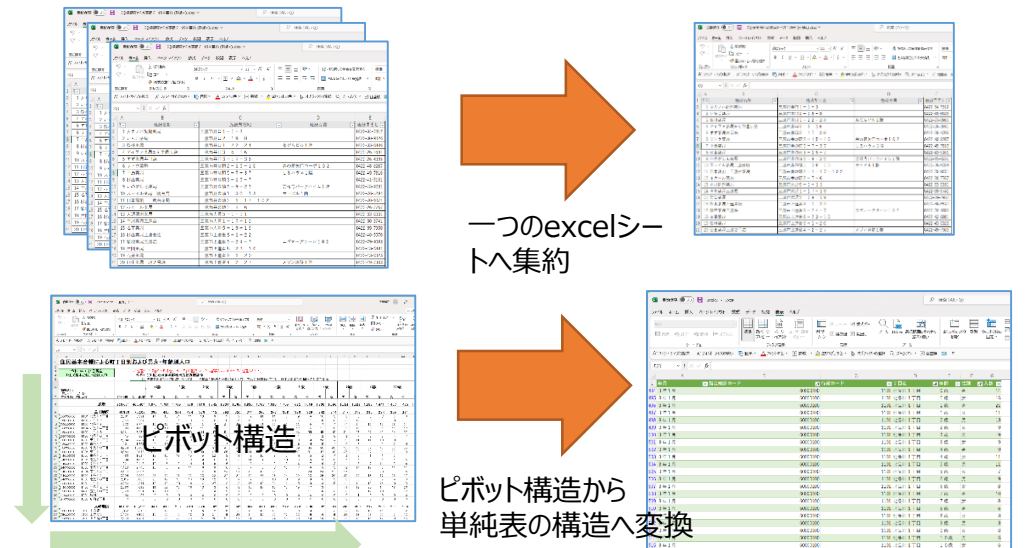
形式：オンライン開催

- アジェンダ：
- ・ 本年度事業総括及び来年度事業の紹介
 - ・ 有識者による講演（一般社団法人リンクデータ 代表理事 下山 紗代子様）
 - ・ 本年度のデータ整備事例の紹介
 - ・ データ整備マニュアルのポイントの説明

本年度のデータ整備による知見



データ整備マニュアルのポイント



データ
整備事例・
マニュアルの
内容イメージ

TDPF各事業の活動報告

①コミュニティ構築

①協議会の取組

- TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成
 - 各WGとも個別のヒアリングやWSを通じ、課題や方向性を共有
 - アドバイザー制度の試行実施
 - Slackコミュニティの継続

②ユースケース創出

②ケーススタディによるユースケース実証

- 令和4年度3プロジェクトの成果取りまとめと令和5年度の活動

③データ整備

③データ整備手法の拡充・将来の事業化準備

- データ整備実施結果取りまとめ
- 令和5年度の活動(自治体標準オープンデータセット62区市町村分のカバレッジデータ取り揃えを目指す取組)

④ポリシー

④ポリシー案改訂・アドバイザーリーボード設置準備

- ポリシー策定委員会を経た改訂案内容と今後について

⑤基盤構築

⑤仮想データ連携基盤の構築・提供

- ケーススタディ事業での仮想データ連携基盤活用を通じた要件定義改版の検討状況

【トラスト検討WG】令和4年度活動報告

TDPF稼働時のトラスト施策案を整理

今年度のトラスト検討WG実施概要

令和4年度

令和5年度以降

トラストの対象と
構成要素・施策論点整理

トラスト施策の具体化

施策実行・改善及び
検討を継続

WG 1回目

WG 2, 3回目

WG 4回目

トラストの対象	トラストが確保された状態	施策案		
		基盤	ポリシー	運営
データ データ・システム・ 管理プロセス	利用者が信頼性を判断するために活用できる情報を提供できていて、 且つ、誰がデータ品質の主体か明確である状態	・メタデータ提供の整備	・統一利用規約の検討 ・オープンデータに関するポリシーの検討	—
提供者 信憑性・継続性・ 誠実性	提供者が出す情報に誤りがなく、 データの提供や誠実なコミュニケーション が継続的に行えると信じられる状態	—	—	・会員登録審査基準の整備 ・モニタリング体制・機能の実装 ・通報窓口の体制整備
利用者 コントロール性・ 信憑性・誠実性	利用者が出す情報に誤りがなく、 運営や提供者が提示したルールに従い、 誠実な対応を行うと信じられる状態	—	—	・通報窓口の体制整備 ・ISO等の標準規格準拠
運営主体 透明性・中立性・ 公正性	提供者・利用者のどちらかに肩入れを せず、運営の責任範囲が明確で活動 に透明性がある状態	・来歴管理機能の実装 ・通報窓口機能の実装	—	・通報窓口の体制整備 ・ISO等の標準規格準拠

【アドバイザー制度】経緯と試行

TDPF活用促進のため、TDPF利用者の課題に応じたアドバイスを実施す 今年度、制度の設計のため試行

TDPFを利用するうえでの悩み

アドバイザーが解決を支援します

アイデアはあるけど
実現方法が分からない

専門技術に関する
知識がない

TDPFにあるデータの
使い方が分からない



独力ではデータ活用
アイデアを実装できない

アイデアの実現方法
が明確になる

専門技術に関連する
アドバイスを受けられる

TDPFにあるデータの
使い方が分かる



中長期的伴走型支援
を受けて実装できる

アドバイザー制度

利用者の課題に応じた
専門技術や事業知見を持ったアドバイザー陣による支援

連携



相談窓口

連携



スポットアドバイザー
ピンポイントの技術
相談等対応



事業パートナー
中長期的な伴走型
支援を見据えた対応

【アドバイザー制度】企業の求める支援

想定ユーザーへのヒアリングを実施し、企画・知見・技術に関する支援を求めるとのご意見（ニーズ）が得られ、制度の妥当性が示された

企画

アイデアの段階から壁打ち相手として伴走してほしい

知見

データの利活用方法や事例を知る機会がほしい

技術

AIや高度な解析技術の支援をしてほしい

【アドバイザー制度】ヒアリング結果

ヒアリングで得たご意見を基に制度設計する 制度開始後も継続的改善を行い、柔軟に相談対応可能な体制を目指す

ヒアリング でのご意見 (一部抜粋)

企画に関するニーズ

- 壁打ちを通じたアイデアの事業化を支援してほしい
- アイデアの事業化にあたって伴走型での支援がほしい
- 相談者の置かれた状況に合わせた柔軟な支援がほしい

知見に関するニーズ

- まちづくりなど専門領域の知見に基づく助言をしてほしい
- データ収集、分析手法等に関するセミナーを開催してほしい
- テーマを設け、データ分析のワークショップを行ってほしい

技術に関するニーズ

- AI等の解析に強いアドバイザーを紹介してほしい
- VRや人流・風況解析等に強みをもつ企業を紹介してほしい

今後の方針

- 稼働に向け、ヒアリングでいただいたご意見を制度に反映
- 稼働後は継続的改善を実施

【ポリシー】今年度改訂検討の流れ

ポリシー案1.1とTDPF関連事業を照合し、TDPF稼働時想定に応じて検討

令和3年度

東京データプラットフォーム
ポリシー構成

東京データプラットフォーム
プライバシー
ステートメント

東京データプラットフォーム
規約

東京データプラットフォーム
データガバナンス指針

東京データプラットフォーム
コンプライアンス指針

東京データプラットフォーム
情報セキュリティ
ポリシー

令和4年度

協議会・
ケーススタディ
データ整備 等

「WG」「ケーススタディ事業」「データ整備」等を通じて
事業内容等の詳細を策定

- TDPF事業計画（案）・内容詳細策定、ユースケースの具体化
- 仮想データ連携基盤の構築、民間事業者整備事業

検討結果等を反映

ポリシー案策定

事業内容・ユースケース等に基づいたポリシー案に改訂

- 事業内容・ユースケース等に応じて条項案の改訂
- 主な論点
 - ✓ オープンデータ利用についての事項
 - ✓ 無償データの取り扱いについて
 - ✓ データ提供者・利用者に求める事項
 - ✓ 基盤構築状況に応じた対応・・・等

事業体制検討

事業体制や必要機能の検討に応じて、アドバイザリーボード
（第三者委員会）設置案の準備

【ポリシー】令和4年度の改訂について

契約（TDPF事業内で遵守すべきルール）
ユースケース（WG/ケーススタディ）
推進会議等

各ユースケースにおける利用データ（個人情報関連）範囲等に大きな変更は無し
オープンデータの取り扱いを検討
「提供者」は東京都や他自治体、ケーススタディ事業者等に限定
取り扱いデータは無償データのみ

オープンデータの取り扱いについて追加

令和4年度のポリシー案改訂

法律（法令改正）
関連条例等の改正

東京都条例改正
電気通信事業法改正

法令等改正に合わせて文言の修正

技術
データ連携基盤構築事業での技術的対応方針の確認

来年度実装予定の基盤を想定

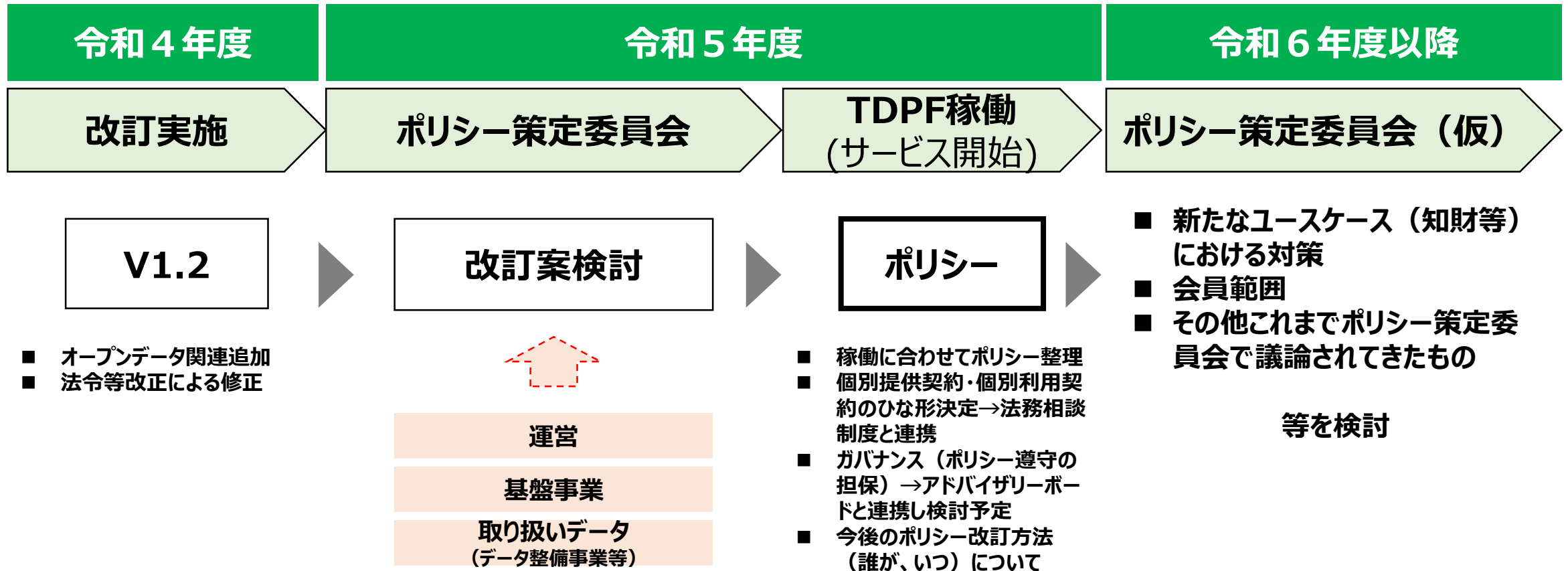
- ・ TDPF会員（利用者）のみTDPFサイトへアクセス可能
- ・ 契約に関するシステム未実装
- ・ 決済機能未実装

来年度実装予定の基盤に合わせて文言の変更を実施

要件定義完了後に検討

【ポリシー】令和4年度改訂案の位置づけと今後

令和5年度の稼働(サービス開始)前に運営や基盤の状況、ユースケースを鑑み再度改訂案を検討



【データ連携基盤事業】概要

仮想データ連携基盤（実証環境）を8月～2月まで提供 ケーススタディ事業等での活用を通じて要件定義書を改版

目的

- データ登録・提供機能を備えた仮想データ連携基盤をケーススタディ事業等で活用
- 利用者からのフィードバック、協議会での提言、国や各団体の動向を踏まえ要件定義書を改版

事業内容

1. 仮想データ連携基盤の利用者への技術サポート・マニュアル整備
 - 7月末から利用者に提供
2. 仮想データ連携基盤の構築・提供
 - ケーススタディ事業やセブン-イレブン・ジャパンとの実証での活用（8月～2月まで）
3. TDPFデータ連携基盤の要件定義書を改版
 - 利用のフィードバックを収集・整理し要件定義書に反映

今後の予定

令和5年度TDPF稼働に向けて基盤の構築

【データ連携基盤事業】要件定義書改版のポイント

連携基盤の3つのコンセプトのもと、関連事業等の動向から
「参加者」と「データ」の2つの視点で要件を詳細化

コンセプト

関連する取組

観点

参加者

トラスの確保

- ✓ トラスト検討WG
- ✓ ポリシー策定委員
- ✓ 推進会議
- ✓ NIST、DSAなどの関連動向

今年度新たに考えられているポリシーの統一利用規約に基づいた、フローの定義、トラストを担保するメタデータの定義、同意の仕組み*

データ

大きなデータベースは作らない
リーンスタートと拡張性

- ✓ ケーススタディ事業
- ✓ セブン-イレブン・ジャパンとの実証

他PFとの相互運用性の確保を想定した拡張性あるIF設計の考え方

拡張性を見据えたTDPFにおけるデータベース構築の必要性

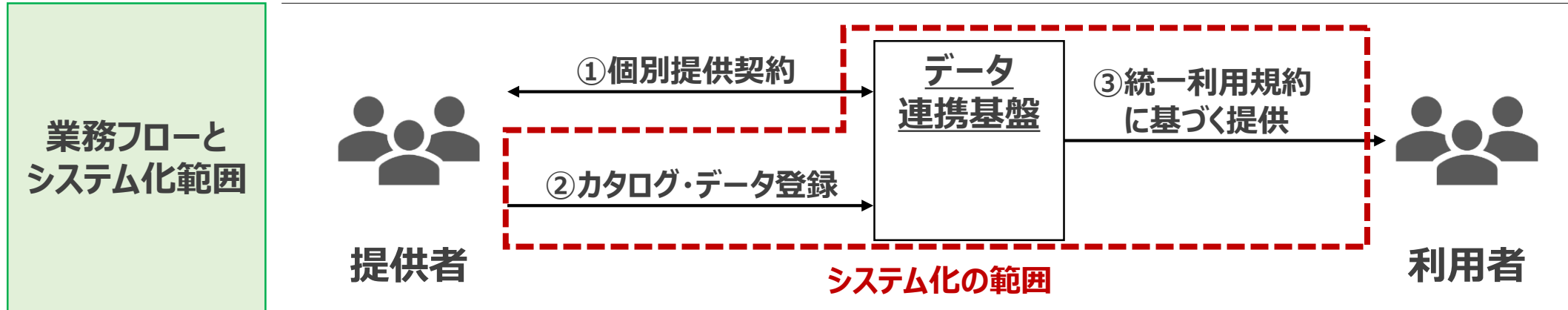
*運用を想定した場合、統一規約の方針が適しているかどうか継続検討が必要

【データ連携基盤事業】改版のポイント 詳細 (1/2)

トラスト検討WGで検討されている統一利用規約を基に検討

トラストの確保

参加者の観点で業務フローとシステム化範囲、機能要件を検討



カタログ・データ登録機能※1

- データのメタデータ及びデータの登録
- 統一利用規約提供に必要な情報の登録 (利用目的など)

統一利用規約に基づく提供機能 (データ取得時)

- 統一利用規約の提示
- データ取得時の同意取得

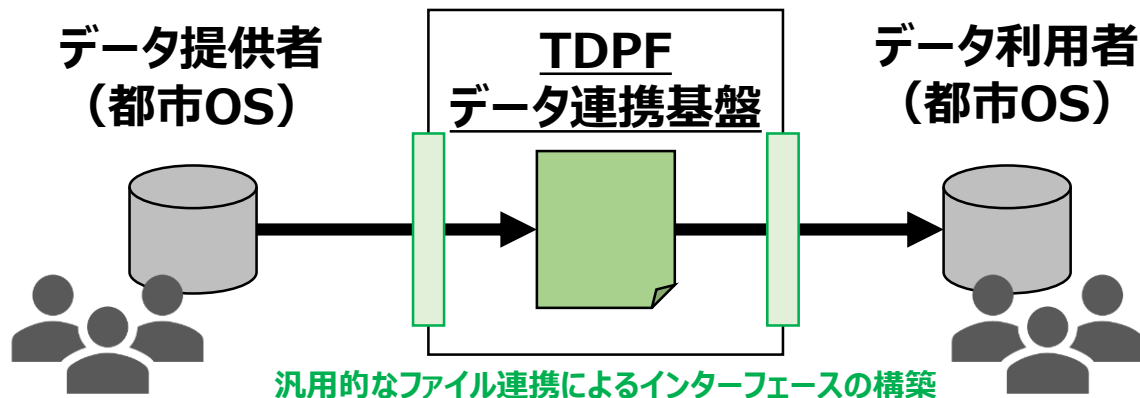
※1 データ登録はデータ連携基盤に登録するケースを想定し、リンク遷移先のデータは対象外

【データ連携基盤事業】改版のポイント 詳細 (2/2)

ケーススタディ事業やセブン-イレブン・ジャパンとの実証等の フィードバックに基づいて検討

データ量と拡張性の観点で検討 (大きなデータベースは作らない/リーンスタートと拡張性)

- 大きなデータベースを持たない形で、**他PFとのデータ流通**を検証完了 (FIWAREとの連携)
- 相互運用性の確保を想定した**インターフェース**を構築、有効性を確認
- センサーがデータなどから**特定のデータのみ編集**するニーズを確認 (データの追加・更新・削除)
- 拡張の方向性として、ファイルだけではなくデータベースとしてのデータ管理機能の検討



ファイル	施設情報などを、CSVやJSONなどのファイル形式で保持
データベース (継続検討)	更新頻度の高いセンサー情報などを、データベースの形で管理


TDPF稼働に向けた準備

今年度の活動を踏まえ、稼働に向けた準備を実施

次年度の稼働に向け、今年度各取組を実施

TDPF各事業の活動報告

①コミュニティ構築	①協議会の取組 <ul style="list-style-type: none">• TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成<ul style="list-style-type: none">➢ 各WGとも個別のヒアリングやWSを通じ、課題や方向性を共有➢ アドバイザー制度の試行実施➢ Slackコミュニティの継続
②ユースケース創出	②ケーススタディによるユースケース実証 <ul style="list-style-type: none">• 令和4年度3プロジェクトの成果取りまとめと令和5年度の活動
③データ整備	③データ整備手法の拡充・将来の事業化準備 <ul style="list-style-type: none">• データ整備実施結果取りまとめ• 令和5年度の活動(自治体標準オープンデータセット62区市町村分のカバレッジデータ取り揃えを目指す取組)
④ポリシー	④ポリシー案改訂・アドバイザーボード設置準備 <ul style="list-style-type: none">• ポリシー策定委員会を経た改訂案内容と今後について
⑤基盤構築	⑤仮想データ連携基盤の構築・提供 <ul style="list-style-type: none">• ケーススタディ事業での仮想データ連携基盤活用を通じた要件定義改版の検討状況

- 
- 各活動の成果を踏まえ、「コンセプトペーパー」としてのまとめを実施
 - TDPFの意義・コンセプトの洗練化

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第6回推進会議の振り返り
3. 令和4年度の各事業報告及び令和5年度事業の紹介
4. TDPF稼働に向けた準備
5. 意見交換
6. 東京都からのお知らせ
7. 閉会の挨拶

目次案

白：今回ご説明

大項目	説明項目
0 TDPFとは	0-1 はじまり ～『Society 5.0』社会実装モデルのあり方検討会～
	0-2 現在地 (『『未来の東京』戦略』version up2023(2023年1月)より)
	0-3 「未来の東京」を支える取組の全体像
	0-4 TDPFとは
1 TDPF事業概要	1-1 TDPFのビジョン・ミッション
	1-2 TDPF事業の目標
	1-3 東京都 & GovTech東京による運営
	1-4 都が先導する意義
	1-5 TDPFが支援すること
	1-6 TDPFを中心としたデータ利活用の好循環
	1-7 取扱データの拡大イメージ
2 ユースケース (シナリオ)	2-1 (令和3年度検討)TDPF注力分野
	2-2 ユースケース全体像
	2-3 災害時のリスクを回避し安全を担保できる東京
	2-4 誰もが皆 快適に過ごせる東京
3 TDPFの構成要素	3-1 TDPF全体構造
	3-2 ステークホルダー
	3-3 主要サービス
	3-4 主要業務
	3-5 オブジェクト
4 主要サービス説明	4-1 データライブラリ
	4-2 データ連携基盤
	4-3 コミュニティ形成支援
	4-4 ユースケース創出
	4-5 データ整備支援
	4-6 データ利活用アドバイザー
	4-7 TDPF特設サイト

大項目	説明項目
5 機能・技術仕様	5-1 機能技術仕様
6 運営組織	6-1 運営組織と体制
7 主要業務説明	7-1 業務概要：事業報告・会議運営
	7-2 業務概要：ポリシー策定
	7-3 業務概要：会員審査・登録・契約
	7-4 業務概要：契約
	7-5 業務概要：カスタマーサポート・問合せ対応
	7-6 業務概要：データ品質調査・維持
8 会員制度	8-1 会員制度概要
	8-2 参加方法・フロー
9 ルール/ポリシー	9-1 ポリシー構成、概要
	9-2 ポリシー補足説明：関係者の範囲
	9-3 ポリシー補足説明：取引形態/対象データ
10 運営チェック	10-1 アドバイザリーボード概要
	10-2 アドバイザリーボード体制
11 収支計画とKPI	11-1 収支計画
	11-2 事業性評価方法・KPI
12 推進計画 (ロードマップ)	12-1 概要
	12-2 取組別 (概要)
	12-3 取組別 (詳細)

はじまり 『Society 5.0』社会実装モデルのあり方検討会(2020年2月)

2020年2月 デジタル時代の都市を支え都民QoLを向上させる方策として 官民連携データプラットフォーム（現在のTDPF）を提案

環境 認識

- 第4次産業革命の到来
- 世界中からデータを集めるプラットフォーム企業の台頭
- 国を挙げたテクノロジーの開発・社会実装競争
- 世界競争ランキング日本はかつての1位から30位へ
- 人口減少時代を迎え、課題が山積

方策の1つとして提言

官民連携 データプラットフォーム (※) 構築

(※) 現在の東京データプラットフォーム
【略称：TDPF】

東京は、ビッグデータや AI などの先端技術を活用して
経済発展と社会的課題の解決を両立させる

Society5.0の実現を目指す

(第一義)

都民 QoL の向上

稼ぐ力の向上

- ✓ 新たな収益・創業機会の創出
- ✓ 既存ビジネスの生産性向上
- ✓ 投資・人材などの呼び込み

ダイバーシティの実現

- ✓ 多面的なバリアフリー実現
- ✓ デジタルデバイドの解消

- 民間では収集が難しいデータもオープン化を促進
- 都民QoL向上につながる幅広い分野のサービスのため自然・気象、インフラ、人々の暮らし、経済活動など様々なデータの集約・融合・解析・処理が必要
- 官民の多様な事業体や都民の協力体制で実現
(2040年ごろのゴール)

現在地

(「『未来の東京』戦略」version up2023(2023年1月)より)

「未来の東京」戦略・スマート東京の基幹となるTDPFを令和5年度稼働予定

環境認識

- 新型コロナはワクチンの開発など転換期を迎えつつある
- 長期化するウクライナ情勢が資源の獲得競争を招き、世界は脱炭素化とエネルギー確保に向け構造転換
- 日本の世界競争力ランキング過去最低34位（2022）
- 人口減少トレンドは変わらず、正面から向き合う必要

持続可能な東京を実現するため、以下に注力

成長の源泉となる「人」	チルドレンファーストの社会 成長の源泉となる人材育成 誰もが個性を活かし、力を発揮できる社会
世界から選ばれ世界をリードする都市	東京のプレゼンスを向上 イノベーションの創出・危機に強い産業構造へ転換
安全・安心でサステナブルな東京	都市機能を高め世界を魅了 都民の生命・健康・財産を守り抜く 脱炭素社会の実現 みんな大好き 多摩・島しょ
従来の枠組みを超えた取組	都政の構造改革 シン・トセイ3 都庁の当たり前を見直し 国と連携して制度を改革

TDPFの位置づけ

**DXを強かに推進し
都は世界で最もQOLの高い
スマート東京を目指す**

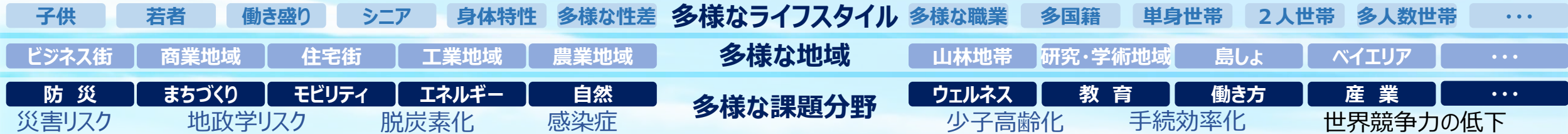
「スマート東京」先行実施エリアの取組強化、通信環境の整備やデータ連携の推進、「GovTech東京」設立による区市町村を含めた東京全体のDXを加速する体制構築など多面的な施策を戦略的に展開。

**その基幹として
TDPFを
令和5年度に稼働**

「未来の東京」を支える取組の全体像

DXを強力に推進し都は世界で最もQOLの高いスマート東京を目指す

成長の源泉となる「人」 世界から選ばれ世界をリードする都市 安全・安心でサステナブルな東京 従来の枠組みを超えた取組



官民のプレイヤーが
データを元に多様な課題・ニーズに気づき
ビジネスが生まれ続ける東京へ

多種多様で複雑な東京の課題発見・解決に
未だ不足し散在しているデータの収集・融合・活用促進が必要

AI/メタバース/自動ロボティクス...
最新技術の駆動に必要なデータが揃い
くらし・サービスがUpdateし続ける東京へ



TDPFとは

東京都の主導(=安全・安心の価値提供)の下、

流れる

公共や民間などのデータが流通する場を提供し、

データを提供する人・利用する人などがつながるコミュニティの形成と、

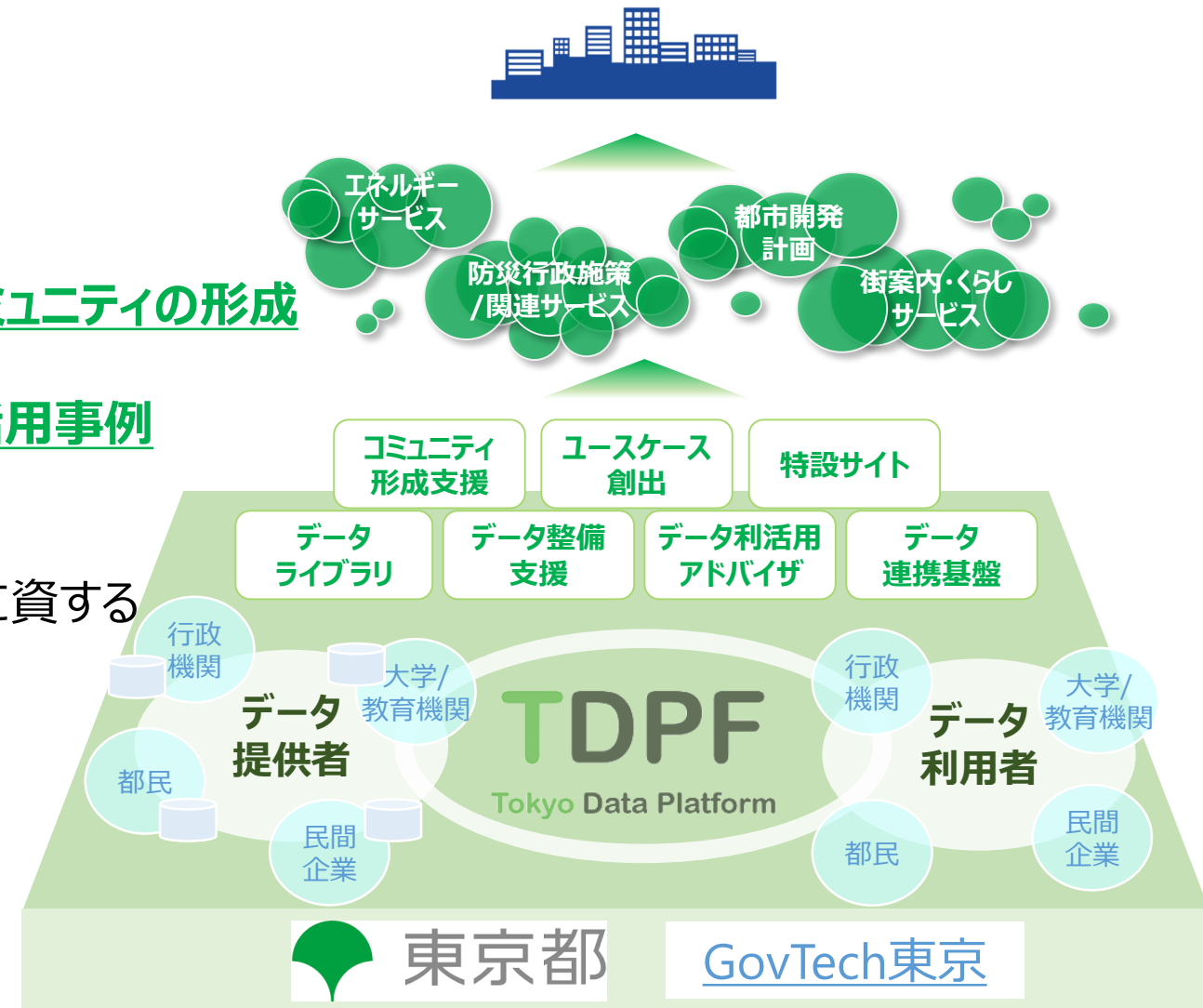
つながる

より多くのデータ・人の集積により新たなデータ利活用事例の創出を支援・加速することで、

進化する

東京のポテンシャルを引き出し、都民のQoL向上に資するデータ利活用の好循環を生み出すしくみである。
(=スマート東京の実現)

スマート東京



TDPFのビジョン・ミッション

ビジョン

- 官民のデータ流通を促して、イノベーションを後押し、社会課題を解決
- 全ての人が快適に暮らし働くことができる社会・スマート東京を実現

ミッション

- 都民・データ利活用に関わるあらゆる人たちと、オープンに協働
- 安心してデータ利活用できる社会の実現を先導

データ 戦略

様々な組織と「つながる」、データが相互に「流れる」ことで、イノベーションを後押し、現状に留まることなく、常に「進化する」ことへの挑戦を継続

東京都 & GovTech東京 による運営

東京都とGovTech東京が協働し事業運営

スマート東京



東京都

&

GovTech東京

デジタルサービス局を中心に
引き続き事業推進

都と区市町村を含めた東京全体のDX推進へ
行政と民間が協働してイノベティブなサービスを
生み出す新団体（令和5年度設立予定）が都と協力

都が先導する意義

都民QoL向上に向け、社会資源としてデータを活用するため 行政が関与して民間だけでは推進しにくい課題解決を促進

公益性あれど民間では
難しいデータサービス支援
(防災、福祉など)

官民共創のデータ活用
事例・知見を広く公開

民間ニーズに対応した
行政データオープン化促進

安心して
データを流通できる
ルール・運営体制構築

コミュニティ
形成支援

ユースケース
創出

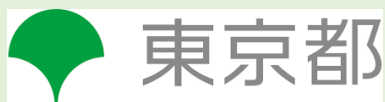
特設サイト

データ
ライブラリ

データ整備
支援

データ活用
アドバイザー

データ
連携基盤



都が関与することで
公平・公正・安全・安心を提供

GovTech東京

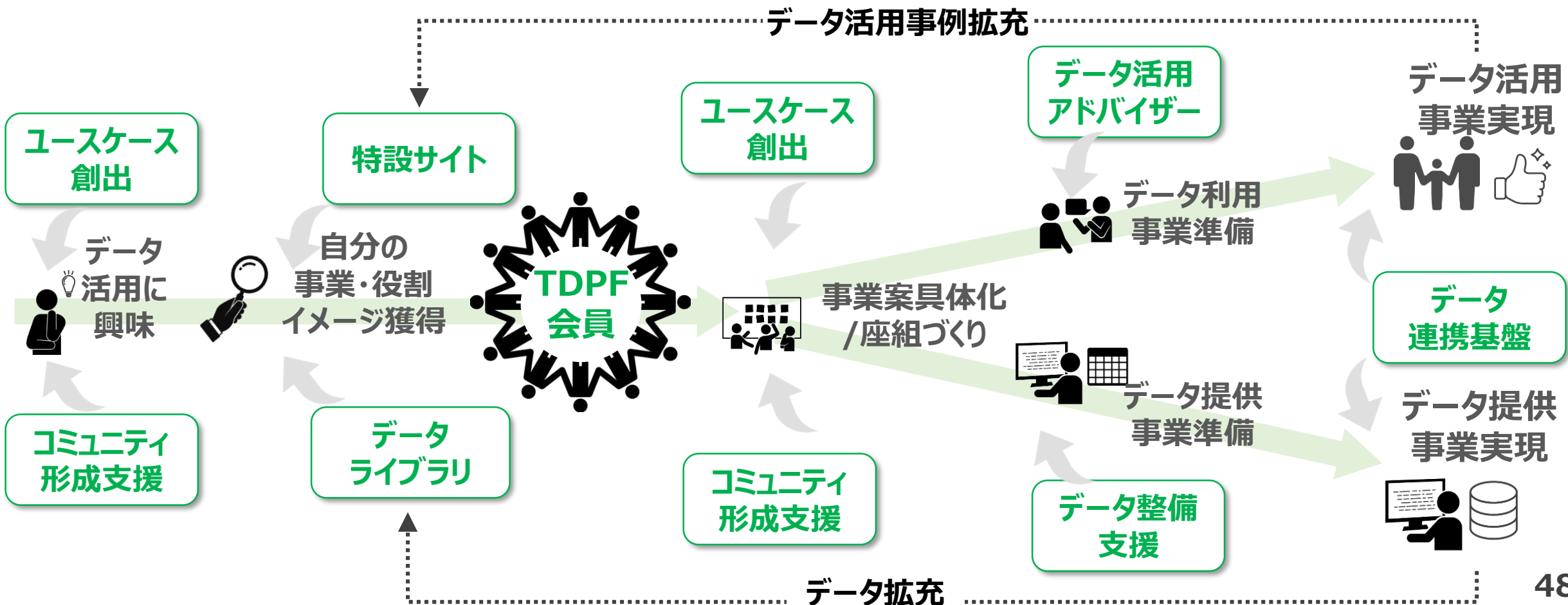
TDPFが支援すること

データに興味を持つ全ての人へ各シーンに対応するサービスをTDPFが提供し
データを活用した価値創出を支援

多様なデータとニーズ発見

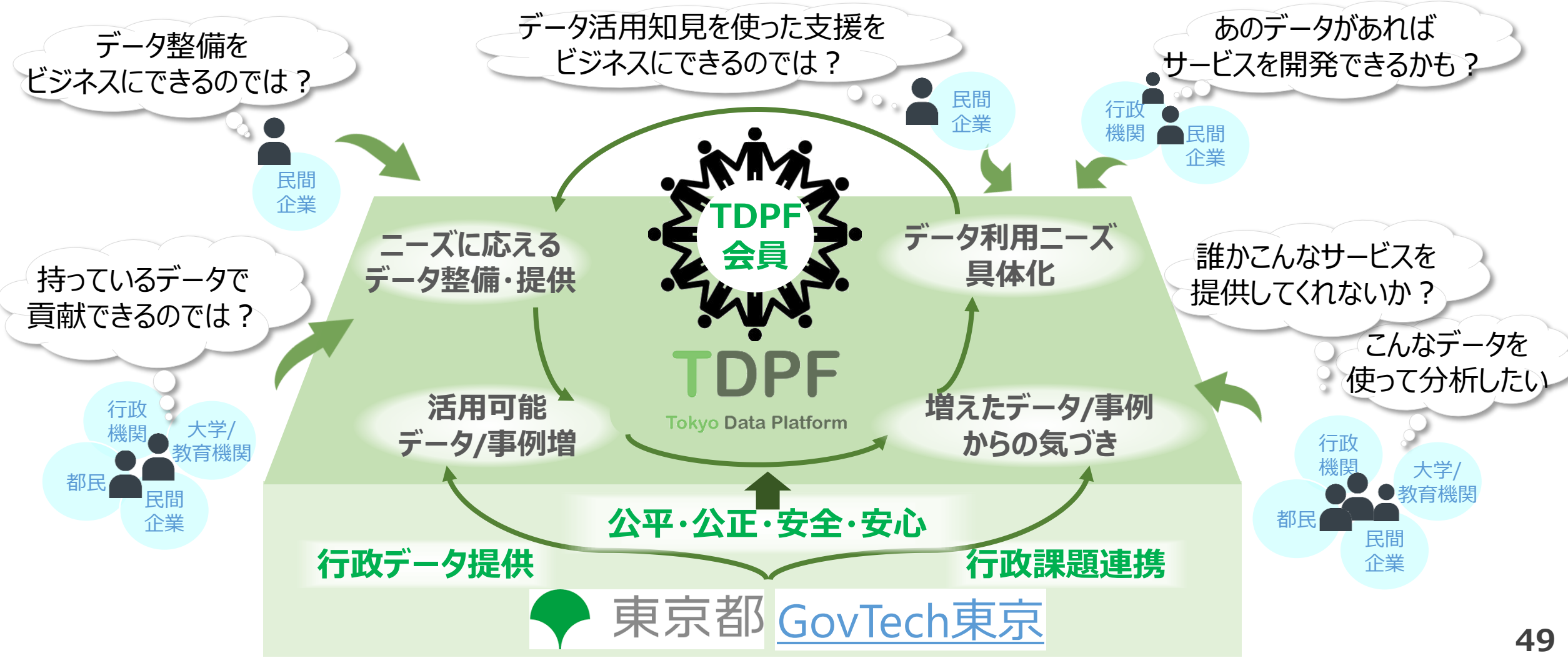
官民の両パートナーとの出会い

スマート東京に資する事業実現



TDPFを中心としたデータ利活用の好循環

都とGovTech東京の共同運営による価値提供を土台とし
様々なプレイヤーが支援しあうことで自立自走するデータ利活用の好循環を目指す



取扱データの拡大イメージ

まず行政データを中心にデータの品揃えをし、段階的に民間データを拡充

データ連携基盤稼働・事業の段階的拡大

令和5年（2023年）

～ 令和7年（2025年）

将来

行政データを中心に
ニーズの高いデータを拡充

行政データの品揃えを呼び水に
公共性の高い分野を中心として民間データ拡大

幅広く民間と連携



防災関連データ
避難所、ハザードマップ等



各種施設
バリアフリー情報 …等

行政
データ

- ・ 都・区市町村のオープンデータ
- ・ データ整備事業で整備する
62区市町村データ
- ・ デジ局各事業の静的データ

- ・ 「防災」「まちづくり」分野等を中心とした
利用者・目的を限定したデータ

- ・ 様々な分野の広域行政データ

- ・ 国等の分野別PFのデータ

- ・ デジ局各事業のリアルタイムデータ

- ・ 民間、都市OS等の
無償データ

- ・ 公共性の高い利用者・目的を限定した民間データ

民間
データ



交通量データ



電力利用データ





人流データ …等

- ・ 民間の有償データ

取り扱うデータ

(令和3年度検討) TDPFの注力分野

令和3年度から「防災」と「まちづくり」を最初のフォーカス分野に選定し取組を推進。
これら分野の深化と共に他分野のニーズも探索してきた

フォーカス分野	中央省庁や民間企業の取組と重複が生じないか	広域自治体として取り組む必要があるか	行政の介入なくして埋まらない需給ギャップが相対的に大きいか	個人情報を含まないデータで、十分な価値提供ができるか
防災 	「SIP4D」※等存在するが、民間によるデータ利活用の余地はありと想定	広域連携による防災への対応が重要になると想定	官民間でのデータ利活用ニーズあり、連携の余地あり	インフラ稼働情報、避難所開設情報等、個人情報を用いないデータの活用が可能
まちづくり 	NPO法人や企業等多様な事業主体との更なる連携が重要	基礎自治体による施設・設備・空間情報等の可視化は道半ば	施設・設備・空間情報等のデータは民間・自治体に散在し、一元化の余地あり	施設・設備・空間情報等、個人情報を用いないデータ活用が可能

※ SIP4D：基盤的防災情報流通ネットワーク。内閣府総合科学技術・イノベーション会議SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）第1期で開発され、防災科研が試験運用・開発中

ユースケース全体像

「未来の東京」戦略も踏まえ

官民の多様なデータを元に多様なサービスを積み重ね、都民QoLの向上につなげる

脱炭素と経済が両立した
産業が成立する東京

エネルギー
サービス

エネルギー需給

CO2排出量

災害時のリスクを回避し
安全を担保できる東京

防災行政施策
関連サービス

避難所・経路

災害予測・被害状況

混雑・人流

都市開発
計画

地域特性

設備・施設・交通

誰もが皆
快適に過ごせる東京

街案内・暮らし
サービス

段差位置

購買行動

Well-Being指標

TDPF

Tokyo Data Platform

データ

自然・気象



データ

インフラ



データ

暮らし・経済



災害時のリスクを回避し安全を担保できる東京 (1/3)

災害予防⇒発災時（応急）⇒復旧・復興まで、多様なデータと事業が存在
各取組に関わる様々なステークホルダーの協調をTDPFがサポートし安心して暮らせる東京に貢献

データ利用者（サービサー）

行政 市民団体 国等の防災基盤 情報サービサー メディア 物流事業者 ディベロッパ 損保 インフラ事業者

事業・活動・サービス

災害予防

避難計画

インフラ補強

災害シミュレーション/リスク評価

施設情報

地理空間情報

人流

発災時の安全確保

災害状況
メディア等連携

帰宅支援
物資手配

災害状況把握

避難所状況

雨量/風量

河川水位

素早い復旧・復興

損害補償

復興計画

被害評価

インフラ復旧状況

浸水箇所/レベル

データ

河川水位
センサー

衛星
画像

地理空間
点群

携帯
位置情報

気象
センサー

電気・水道・ガス
供給状況

学校・医療
機関位置など

AED・トイレ
位置など

避難所
情報

店舗設備
稼働状況

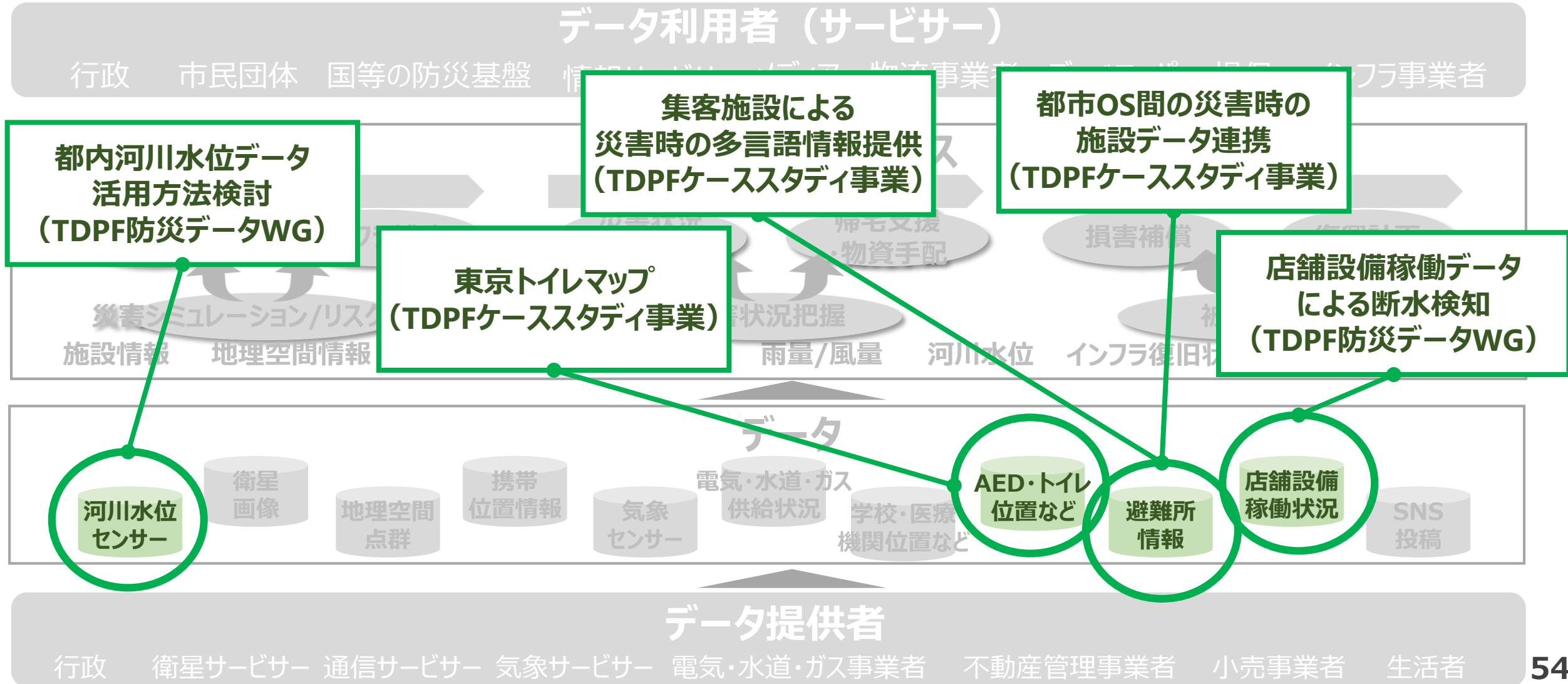
SNS
投稿

データ提供者

行政 衛星サービサー 通信サービサー 気象サービサー 電気・水道・ガス事業者 不動産管理事業者 小売事業者 生活者

災害時のリスクを回避し安全を担保できる東京 (2/3)

安心して暮らせる東京に向け、ワーキング/ケーススタディ事業を通じ
既にいくつかのユースケース実施



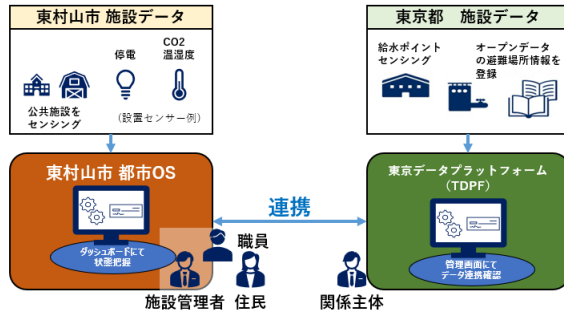
災害時のリスクを回避し安全を担保できる東京 (3/3)

今年度の取組を踏まえ、災害時の安全性向上に寄与するデータ連携に取り組む

今年度取組事例

都市OS間の災害時の施設データ連携 (TDPFケーススタディ事業)

平常時の公共施設等の維持管理情報を、災害発生時の避難所開設に活用

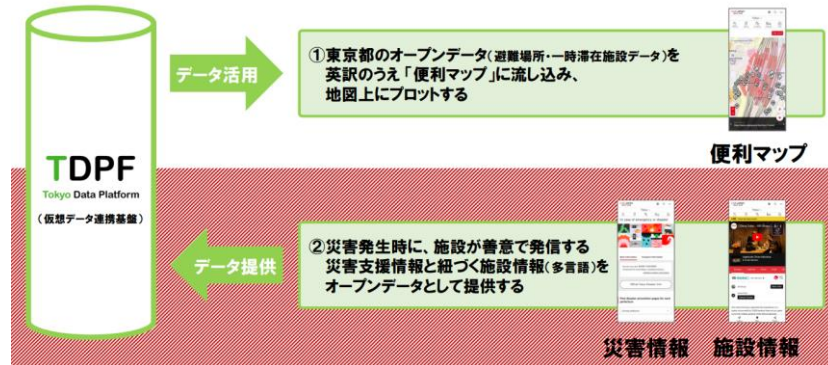


都市OSとTDPFの連携で、関係主体間で避難所開設情報等を共有し、活用

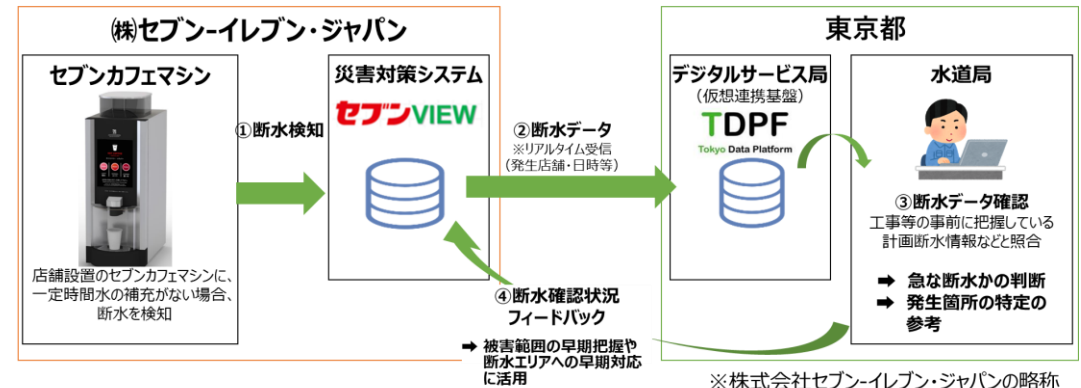
都内河川水位データ活用方法検討 (TDPF防災データWG)



集客施設による災害時の多言語情報提供 (TDPFケーススタディ事業)



店舗設備稼働データによる断水検知 (TDPF防災データWG)



誰もが皆 快適に過ごせる東京(1/3)

データを活用し、それぞれの人にあった移動・サービス・モノなどを
様々な事業者が提供できるようにしていく

子供連れ 高齢者 障がい者 若者・学生 在京外国人 旅行者 ビジネスマン ...

データ利用者（サービサー）

行政 交通事業者 スマートシティ団体 小売事業者 衣食住系メーカー 生活サービサー ディベロッパ 不動産事業者

事業・活動・サービス（例）

いつでも誰でも快適な移動

ラストマイル
モビリティ 歩道・昇降機
など整備 おすすめ
経路案内 適格な
救急等

交通・乗車場所
(駅・タクシー・自転車など) 設備位置 段差場所

刺さるサービス・モノ開発

自動運転
/ロボット イベント
企画 サービス
企画 商品
企画 出店
計画

混雑 人流 住民・来訪者統計
(年代・性別・家族構成・年収など)

自分にあった居住地・家

メタバース
サービス 公共の場開発
(公園など) 最適
住宅提案

販売動向 店舗・施設位置
(店・学校・医療機関など) 気候傾向

データ（例）

交通機関
位置 AED・トイレ
位置など 衛星
画像 地理空間
点群 携帯
位置情報 通行者
推定属性 地域
人口統計 店舗売上 Wellbeing
指標 学校・医療
機関位置
など 食品等
営業可・
届出一覧 SNS投稿
/アプリ利用 気象
センサー

データ提供者

行政 交通事業者 衛星サービサー 通信サービサー スマートシティ団体 小売事業者 ディベロッパ 不動産事業者 生活者

誰もが皆 快適に過ごせる東京(2/3)

誰もが皆 快適に過ごせる東京に向けて、ワーキング/ケーススタディ事業などを通じ
既にいくつかのユースケースを実施

子供連れ 高齢者 障がい者 若者・学生 海外留学生 旅行者 ビジネスマン ...

データ利用者 (サービサー)

スマートシティ団体 小売事業者 ... デイベロッパ 不動産事業者

TOKYOトイレマップ
(TDPFケーススタディ事業)

店舗や人流などの
標準データフォーマット化
(データ整備事業)

行政データを活用した
地域プロファイリング
(TDPFケーススタディ事業)

官民保有の施設関連データ
組合せユースケース検討
(施設系データ集約WG)

交通機関位置 AED・トイレ位置など 衛星画像 地理空間点群 携帯位置情報 通行者推定属性 地域人口統計 店舗売上 Wellbeing指標 学校・医療機関位置など 食品等営業可届出一覧 SNS投稿/アプリ利用 気象センサー

データ提供者

行政 交通事業者 衛星サービサー 通信サービサー スマートシティ団体 小売事業者 デイベロッパ 不動産事業者 生活者

誰もが皆 快適に過ごせる東京(3/3)

トイレ、施設位置、人口統計など、行政と民間データを組合せ
 精度・粒度・カバー範囲を拡充し、個々の人に寄り添うサービス開発を促進

関連取組事例

TOKYOトイレマップ (TDPFケーススタディ事業)



官民保有の施設関連データ組合せユースケース検討 (施設系データ集約WG)



行政データを活用した地域プロファイリング (TDPFケーススタディ事業)



店舗や人流などの標準データフォーマット化 (データ整備事業)

対象データセット	業種	決定理由	データ整備方針や想定成果
店舗・施設一覧	小売	・店舗に関する幅広い情報を保持 ・自治体との連携も想定	・POIコードや町字IDの付与、同コードを用いたデータ整備の実施
	情報・通信	・様々な店舗・施設一覧のデータを既に整備しており、参考事例として有効	・店舗・施設一覧における望ましいデータフォーマットの検討
人流データ (カメラで取得)	地域団体	・将来的な広域連携や外部提供も想定	・複数地点・広域エリアでの人流データの連携を見据えたデータ整備の実施
食品等営業可 届出一覧	23区自治体A	・今年度新たに整備するデータセット	・推奨データセットやデジタル庁の取組等に準拠する上で必要なデータ整備の実施 ➢ 法人番号、緯度・経度、POIコード、町字ID、メタデータの付与 ➢ エラーデータの訂正
	23区自治体B	・推奨データセットへの変換作業、精度経度付与、法人番号付与等の整備検討に最適	
地域年齢別人口 医療機関一覧 介護施設一覧	島しょ部自治体	・島しょ部のデータ整備推進の先進事例として選定	・1データセットあたりのデータ量が少ないため、複数のデータセットを対象に整備を実施

TDPF全体構造

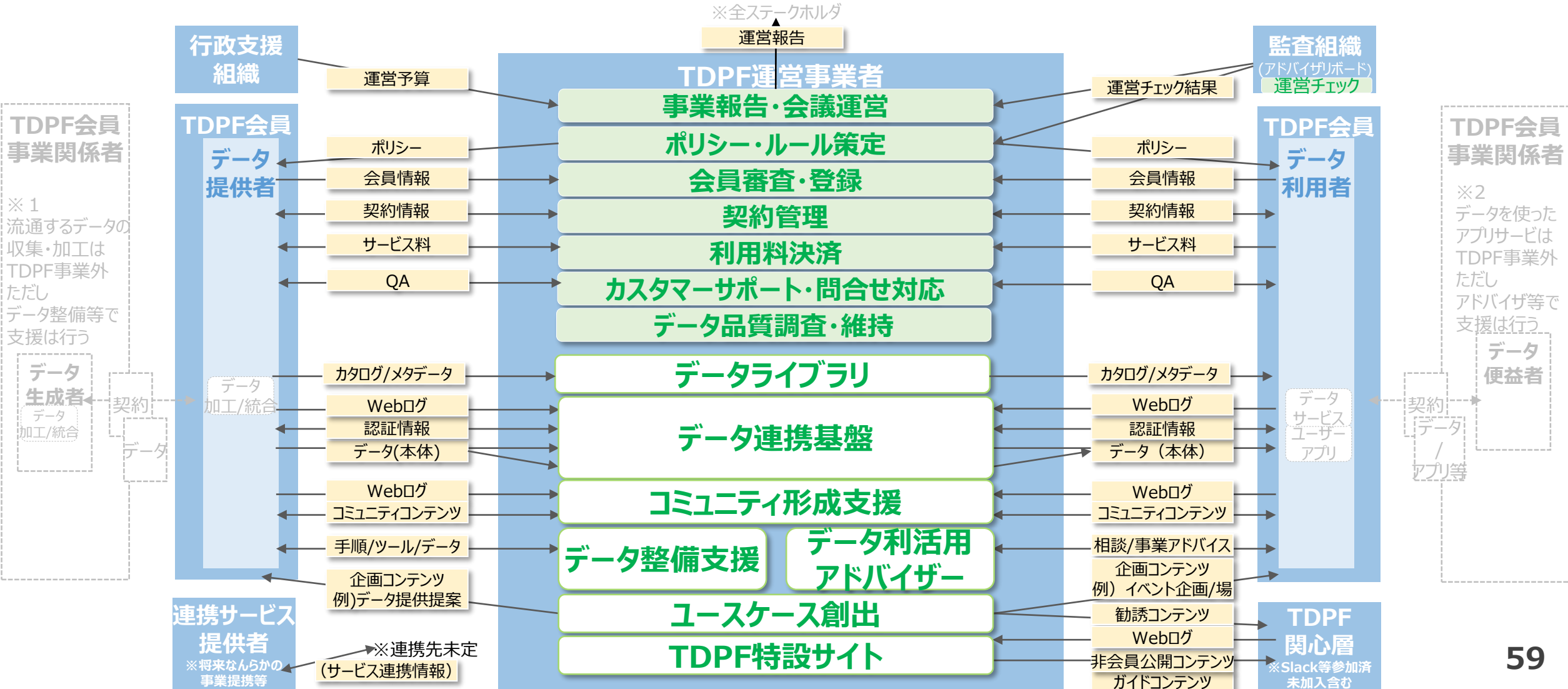
凡例

ステークホルダ
役割

主要業務
主要サービス
主要オブジェクト

TDPF
直接関与外の
関連要素

TDPF本格稼働に向け、事業の構成要素を定義し、参画者にとって分かりやすい状態にしていく
主要業務は令和5年度早々に具体的な設計を行う予定



ユースケース創出

令和5年度は本格稼働に向け
テーマ×データ×課題を元にした検討を個別に走らせ、事業化へ繋ぐ

分野

防災	まちづくり	モビリティ
エネルギー	自然	ウェルネス
教育	働き方	産業

これまでの事業

ケーススタディ事業

- 飲食店混雑データ活用
- TOKYOトイレマップ
- 地域プロファイリング
- 災害時施設都市OS間連携
- 駅利用圏ポテンシャルマップ
- 災害時多言語情報提供

ワーキング

防災	施設	観光
		Meet up

データ

防災関連データ 各種施設
避難所、ハザードマップ等 バリアフリー情報 …等

- 都・区市町村のオープンデータ
- データ整備事業で整備する
62区市町村データ

TDPF
運営事務局



事業デザイン
素案

事務局が
事業案・座組づくり
も支援※

企画・課題
持込

事業提案
/協議

声掛け



TDPF
会員

事業案



非会員でも
事業に関わる可能性を
持つ方

ブラッシュ
アップ
/見極め

データ活用
事業実現



※将来はデータや人が集積し、自立自走でユースケースが創出される状態を目指す

TDPF特設サイト

TDPFの活動やデータに関わる知見の情報提供、会員申込やFAQに対応するサイトを
来年度リリースし、データ活用に興味を持つ全ての人の窓口としていく

TDPF
Tokyo Data Platform

Home

TDPFとは？

会員一覧

会員登録

FAQs

問合せ

アドバイザー
制度申込

会員
ログイン

東京データプラットフォーム

官民データ連携で未来のスマート東京を創る

What
is
TDPF?

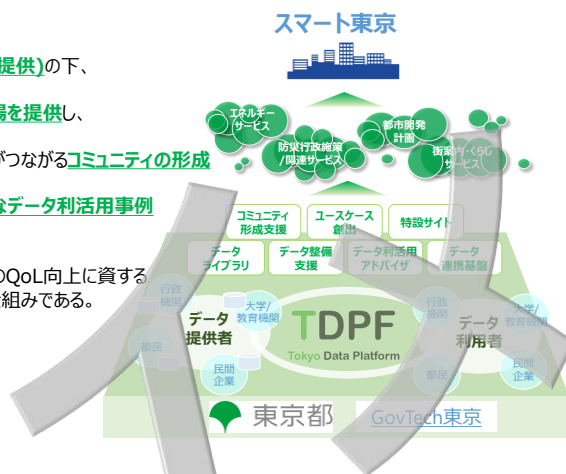
流れる
つながる
進化する

東京都の主導(=安全・安心の価値提供)の下、

公共や民間などのデータが流通する場を提供し、

データを提供する人・利用する人などがつながるコミュニティの形成と、
より多くのデータ・人の集積により新たなデータ活用事例の創出を支援・加速することで、

東京のポテンシャルを引き出し、都民のQoL向上に資するデータ活用の好循環を生み出す仕組みである。
(=スマート東京の実現)



TDPF
利用ガイド

TDPF
事業紹介

ポリシー&
ルール

データ
ライブラリ
リンク

データ連携
基盤
サンプルコード

関連
ニュース

新着情報

2023/1/15 開催案内 ポリシー策定委員会 (令和5年1月27日開催)

2023/1/12 開催案内【令和4年1月25日開催】データ利活用オンラインセミナー

データライブラリ

官民の各種データを一元的に検索・利用可能な基盤を提供
TDPFの取扱いデータや、オープンデータリンクなど、使えるデータの発見をサポート

データ提供者

データ利用者

TDPFデータライブラリ

各種データサイトの
一括検索機能

他カタログサイト
等へのアクセス・
各種データ等

データの整理・
項目付加機能

整理された
データ等

データ改善機能
(フィードバック、
リクエスト、レート等)

利用したいデータ
のリクエスト等

各機能の概要 (想定)

- 都、区市町村、国、公的機関、民間のオープンデータを一括検索・アクセス
- データ提供者が個別に提供しているデータについて、検索性・利便性を高めるため、再分類や、データ項目（メタデータ等）の付加（段階的）
- 継続的にデータ改善をできるように利用者ニーズやログ、データレート※等のフィードバック機能

※データの機械判読性の可視化

データ利活用アドバイザー

データ利活用アイデアの具体化、IT・AI等の技術支援など
TDPFを活用した利活用事例創出の為、利用者の課題に応じたアドバイスを実施

データ利用するうえでの悩み

アイデアはあるけど
実現方法が分からない

専門技術に関する
知識がない

TDPFにあるデータの
使い方が分からない



独力ではデータ活用
アイデアを実装できない

アドバイザーが解決を支援します

アイデアの実現方法
が明確になる

専門技術に関連する
アドバイスを受けられる

TDPFにあるデータの
使い方が分かる



中長期的伴走型支援
を受けて実装できる

データ利活用アドバイザー

利用者の課題に応じた
専門技術や事業知見を持ったアドバイザー陣による支援

連携



相談窓口

連携

スポットアドバイザー
ピンポイントの技術
相談等対応

事業パートナー
中長期的な伴走型
支援を見据えた対応

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第6回推進会議の振り返り
3. 令和4年度の各事業報告及び令和5年度事業の紹介
4. TDPF稼働に向けた準備
5. 意見交換
6. 東京都からのお知らせ
7. 閉会の挨拶

5. 意見交換

TDPF稼働に向けた準備について

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第6回推進会議の振り返り
3. 令和4年度の各事業報告及び令和5年度事業の紹介
4. TDPF稼働に向けた準備
5. 意見交換
6. 東京都からのお知らせ
7. 閉会の挨拶

TDPF事業 今後の予定について

データ整備事業
データ整備事業成果報告会

3月23日
(木) 予定

「データ整備事業」の本年度の総括と来年度事業についての説明や、データ整備マニュアル活用のポイントなどを発表。データ整備手法に興味関心のある方はぜひご参加ください。



申込みフォーム

都知事杯オープンデータ・ハッカソン
Demo Day

3月25日
(土)
13:00-15:00

都のオープンデータを活用し、行政課題解決に向けたサービスの創出を目指す都知事杯オープンデータ・ハッカソンを開催しています。3月25日(土)13時から15時まで、Final Stageに出場した10チームが、年度末のリリースに向けて開発したサービスを発表するDemo Dayを開催します。ぜひご視聴ください。



YouTube リンク

「Society 5.0」社会実装
モデルのあり方検討会 報告会

3月29日
(水) 予定

「スマート東京」の実現に向けたデータ利活用の取組の進捗を中心に、有識者からの意見聴取の報告会を実施いたします。



前年度までの取組

Tokyo Warm Home & Bizの取組について

HTT <電力をH減らす・T創る・T蓄める> をキーワードにキャンペーンを実施中

HTT 電力を
へらす
つくる
ためる

①減らす・①創る・①蓄める
ただいま節電アクション実施中
ご理解とご協力をお願いします

TokyoTokyo

Tokyo Warm Home & Biz

東京都

みんなが温かい部屋に集まろう
お得に賢賢 かしこく節電
自分でつくるおうちの電気
家裏で節ガス
複層ガラスや二重窓で高い断熱性
一枚重ね着して冬を快適に
冬の冷蔵庫は「弱」設定
非常時に頼れるZEV

<取組紹介サイト>



TDPF 活動内容について

TDPFの活動内容は、東京都デジタルサービス局ホームページや、YouTubeに公開

東京都デジタルサービス局- YouTube



東京データプラットフォーム協議会
第6回推進会議



こちらからアクセス

東京データプラットフォーム協議会



こちらからアクセス

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第6回推進会議の振り返り
3. 令和4年度の各事業報告及び令和5年度事業の紹介
4. TDPF稼働に向けた準備
5. 意見交換
6. 東京都からのお知らせ
7. 閉会の挨拶

7. 閉会の挨拶

東京都 デジタルサービス局長 久我 英男

ご清聴ありがとうございました

皆様の貴重なご意見を活動に反映すべく、アンケートにご回答ください



アンケートURL

<https://forms.office.com/r/6zWTC4iAYh>

本協議会のSlackグループにご参加いただける方は、アンケート内にアカウント作成に必要なメールアドレスをご記入ください。

皆さまのご参加お待ちしております。